

事  
業  
報  
告



## 平成二十五年度研究会報告

### 刑事法研究会

(第一回例会)

### 法学研究所

一、平成二十五年六月二十日(木)午後五時三十分から

一、法学部(本館)一七一講堂

一、テーマ及び報告者

傷害概念と精神障害

平成国際大学准教授(本学非常勤講師) 野村 和彦

(第一回例会)

一、平成二十五年十月十九日(土)午後二時から

一、法学部(二号館)三二二講堂

一、テーマ及び報告者

総合設計許可処分(建築基準法第五九条の二第一項)に係る

要考慮要素の重み付けについて

大学院法務研究科助教 平 裕介

(第二回例会)

一、平成二十五年七月二十五日(木)午後四時から

一、法学部(本館)一七一講堂

一、テーマ及び報告者

明石歩道橋事故判決(神戸地判平成二十五年二月二十日・

公刊物未掲載)の課題

教授 船山 泰範

教授 関 正晴

助教 三明 翔

(第二回例会)

一、平成二十六年二月十五日(土)午前十時四十分から

一、法学部(本館)一八一講堂

一、テーマ及び報告者

(判例研究)嫡出でない子の法定相続分を嫡出子の二分の一

と定める民法九〇〇条四号但書前段が憲法一四一条一項に違

反するとした事例(最大決平成二五・九・五)

大学院法学研究科博士後期課程 小関 康平

(第二回例会)

一、平成二十五年十月十一日(金)午後四時から

一、法学部(二号館)二五四A講堂

一、テーマ及び報告者

韓国における被害者支援活動の現状と将来の課題について

梨花女子大学法学専門大学院教授 趙 均錫

(第四回例会)

一、平成二十五年十一月二十一日(木)午後五時から

一、法学部(本館)一八一講堂

一、テーマ及び報告者

「児童ポルノのURLをホームページ上に明らかにした行為に対する『児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律』上の公然陳列罪の成否」(最高裁平成二十一(あ)第二〇八二号最高裁第三法廷平成二十四年七月九日決定判タ一三八三号)

非常勤講師 上野 幸彦

(第五回例会)

一、平成二十五年十二月十九日(木)午後五時から

一、法学部(本館)一八一講堂

一、テーマ及び報告者

サイバー詐欺型犯罪

大学院修士課程修了 原田 久直

民事法研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年四月十一日(木)午後五時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に対する意見書の作成

(第二回例会)

一、平成二十五年四月二十五日(木)午後五時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に対する意見書の作成

(第二回例会)

一、平成二十五年五月十一日(土)午前十時三十分から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に対する意見書の作成

(第四回例会)

一、平成二十五年五月十六日(木)午後五時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に対する意見

書の作成

(第五回例会)

一、平成二十五年五月三十日(木)午後五時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に対する意見書の作成

―法と実務の接点―

教授 藤川 信夫

経営法学研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年六月十五日(土)午後三時から

一、法学部(二号館)二二二講堂

一、テーマ及び報告者

児童手当差押え裁判(勝訴)の鑑定

元立正大学法学部教授(現客員教授)・税理士 浦野 広明

商事法研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年九月二十一日(土)午後二時から

一、法学部(四号館)第四会議室

一、テーマ及び報告者

シンジケート・ローンにおけるアレレンジャーの法的責任

商学部助教 鬼頭 俊泰

(第二回例会)

一、平成二十五年九月二十一日(土)午後二時から

一、法学部(四号館)第四会議室

一、テーマ及び報告者

米国金融改革法を中心とする国際金融法制の展開と日本への影響

(第二回例会)

一、平成二十五年六月十五日(土)午後四時三十分から

一、法学部(二号館)二二二講堂

一、テーマ及び報告者

企業税制の日米比較分析

白鷗大学法学部教授 石村 耕治

(第三回例会)

一、平成二十五年七月二十日(土)午後三時から

一、法学部(二号館)二四一講堂

一、テーマ及び報告者

「更生があることの予知」とは何か、そしていつのことか

税理士 八代 司

(第四回例会)

- 一、平成二十五年七月二十日(土)午後四時三十分から
- 一、法学部(二号館)二四一講堂
- 一、テーマ及び報告者

アメリカの登録納税申請書作成士(RTRP)制度

— T P P 交渉時代にアメリカで新たに誕生した税務専門職 —

白鷗大学法学部教授 石村 耕治

(第五回例会)

- 一、平成二十五年九月二十一日(土)午後三時から
- 一、法学部(二号館)二四一講堂
- 一、テーマ及び報告者

青色取消要件と事実認定のあり方／所法一五〇条一項一号  
三号後段

税理士 杉山 隆

(第六回例会)

- 一、平成二十五年九月二十一日(土)午後四時三十分から
- 一、法学部(二号館)二四一講堂
- 一、テーマ及び報告者

韓国国税庁グリーンブックにみる税務調査手続の概要

関東学院大学教授・税理士 阿部 徳幸

(第七回例会)

- 一、平成二十五年十月十九日(土)午後三時から
- 一、法学部(二号館)二四一講堂
- 一、テーマ及び報告者

馬券払戻金の所得区分と外れ馬券の必要経費性

— 所得概念と実定税法との架橋 —

大学院法学研究科博士後期課程 本村 大輔

(第八回例会)

- 一、平成二十五年十月十九日(土)午後三時から
- 一、法学部(二号館)二四一講堂
- 一、テーマ及び報告者

調査と行政指導の区分

税理士 岡田 俊明

(第九回例会)

- 一、平成二十五年十一月十六日(土)午後三時から
- 一、法学部(三号館)三二五講堂
- 一、テーマ及び報告者

福島原発被害・賠償金非課税に向けて  
税理士・税経新人会全国協議会副理事長 松田 周平

(第十回例会)

- 一、平成二十五年十一月十六日(土)午後三時から
- 一、法学部(三号館)三二五講堂
- 一、テーマ及び報告者

一人親方の外注費の仕入税額控除該当性

東京福祉大学准教授・税理士 平 仁

(第十一回例会)

- 一、平成二十五年十二月三日(火)午後四時二十分から
- 一、法学部(本館)第一会議室
- 一、テーマ及び報告者

米国における製造物責任法の現状と問題点

中央学院大学法学部教授 館 幸嗣

(第十二回例会)

- 一、平成二十五年十二月二十一日(土)午後三時から
- 一、法学部(二号館)二二二講堂
- 一、テーマ及び報告者

韓国におけるIFRS導入が日本の税務会計制度に与える

示唆

大東文化大学経営学部・大学院経営学研究科

准教授 高沢 修一

(第十三回例会)

- 一、平成二十六年一月二十五日(土)午後三時から
- 一、法学部(三号館)三二七講堂
- 一、テーマ及び報告者

資金の時間価値と発生主義による所得課税の問題点

―各税法において、売掛金等の未収入金に課税しないで

ください―

税理士 境 鎮治

(第十四回例会)

- 一、平成二十六年一月二十五日(土)午後四時三十分から
- 一、法学部(三号館)三二七講堂
- 一、テーマ及び報告者

二重課税とは何か

―二重課税事例の類型的分析―

白鷗大学法学部教授 石村 耕治

保険法研究会

(第一回例会)

- 一、平成二十五年七月二十日(土)午後二時から
- 一、法学部(本館)第二会議室
- 一、テーマ及び報告者

(判例研究)税理士の顧問契約上の助言・指導義務の範囲と  
債務不履行の成否(東京地判平成二十四年三月三十日・判  
タ一三三八二号一五二頁)

主任研究員 清水 秀規

新日本有限責任監査法人 堀野 裕子

(第二回例会)

一、平成二十五年七月二十日(土)午後二時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

(判例研究)自動車損害賠償保障法一五条所定の保険金の支  
払を請求する訴訟において裁判所が同法一六条の三第一項  
が規定する支払基準によることなく保険金の額を算定して  
支払を命じることの可否(最一小判平成二十四年十月十一  
日・金判一四〇六号三六頁)

大学院法務研究科助教 金澤 大輔

(第二回例会)

一、平成二十五年十二月七日(土)午後二時から

一、法学部(本館)第一会議室

一、テーマ及び報告者

胎児にかかる交通事故裁判例の傾向と分析

—人工妊娠中絶例—

一般社団法人J A 共済総合研究所医療研究研修部

(第四回例会)

一、平成二十五年十二月七日(土)午後二時から

一、法学部(本館)第一会議室

一、テーマ及び報告者

(判例研究)人身傷害補償条項に基づいて保険金を支払った  
保険会社による損害賠償請求権の代位取得の範囲(最一小  
判平成二十四年二月二十日・民集六六卷二七四二頁、最  
三小判平成二十四年五月二十九日・判時二一五五号一〇九  
頁)

教授 長谷川貞之

政経研究所

政治研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年十一月三十日(土)午前十時から

一、法学部(本館)一四三講堂

一、テーマ及び報告者

参院選 選挙後の日本の政局、政界再編、ネット選挙

自民党衆議院議員 星野 剛士

(第二回例会)

一、平成二十五年十一月三十日(土)午前十時から

一、法学部(本館)一四三講堂

一、テーマ及び報告者

参院選 選挙後の日本の政局、政界再編、ネット選挙

政治ジャーナリスト 角谷 浩一

(第三回例会)

一、平成二十五年十二月九日(月)午後六時から

一、法学部(一〇号館)一〇八三講堂

一、テーマ及び報告者

政治的人材の育成

――一〇〇年先の日本を見据えて――

民主党衆議院議員 原口 一博

(第四回例会)

一、平成二十五年十二月九日(月)午後六時から

一、法学部(一〇号館)一〇八三講堂

一、テーマ及び報告者

政治的人材の育成

――一〇〇年先の日本を見据えて――

民主党参議院議員 小川 勝也

経済研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年十月十七日(木)午後五時から

一、法学部(本館)第二会議室

一、テーマ及び報告者

フリーバンキングとは何か? 理論的根拠とその可能性

国士舘大学非常勤講師 伊藤 理裕

公共政策研究会

(第一回例会)

一、平成二十五年七月四日(木)午後四時三十分から

一、法学部(本館)一五六講堂

一、テーマ及び報告者

マイナンバー制度

総務省行政管理局電子政府研究官 中井川 禎彦

(第二回例会)

一、平成二十五年十一月二十八日(木)午後五時三十分から

一、法学部(本館)一八一講堂

一、テーマ及び報告者

国の政策評価の現状及び課題について

総務省行政評価局政策評価研究官 松本 純

## 比較法研究所

### 現代空法研究会

#### (第一回例会)

一、平成二十六年一月十一日(土)午後二時から

一、法学部(本館)第一会議室

一、テーマ及び報告者

運送法制研究会の審議状況について

東京大学大学院法学政治学研究所教授 山下 友信

#### (第二回例会)

一、平成二十六年一月十一日(土)午後二時から

一、法学部(本館)第一会議室

一、テーマ及び報告者

搭乗拒否にみる航空アクセス権の合理的制限と手続

教授 工藤 聡一

(※平成二十五年二月～平成二十六年一月末日現在)

## 平成二十四年度学内学会・研究所合同研究会

一、日時 平成二十五年三月七日(木)午前十時四十分開会

一、場所 法学部本館二階第一会議室

司会・進行 小野 美典・岡部 玲子

栗栖 真人・杉本 純子

武繩 卓雄・矢田 尚子

一、シンポジウム

「日本大学法学部の教育を考える」

①今日の大学教育を考えるにあたって

— 歴史的観点から — 畠山 達

②あきらめの悪い学生を育てる 岩瀬 美克

③目標は「人間の尊厳」 矢野 聡

二、自由論題

①人間と存在の哲学 — 開かれた問いとしての現象学 — 岡山 敬二

②企業結合会計における公正価値測定の現状と課題 小阪 敬志

③ベートーヴェン以後の音楽の可能性

— ローベルト・シューマンとリヒャルト・ワーグナーの

場合 — 佐藤 英

④刑事被告人の証拠開示を受ける憲法上の権利

— アメリカ合衆国の Brady 法理を巡る議論を中心に —

三 明 翔

⑤サービス付高齢者向け住宅の居住の保障とサブリース契約

矢田 尚子

### 三、退任記念講演

①日本国憲法制定時の九条の法的意味

青山 武憲

②オークションにおける「保守的であること」の意味

奥村 大作

※青山先生は、諸事情により退任記念講演を行わなかった。

## 平成二十四年度・二十五年度定期無料法律 相談会

平成二十四年度・二十五年度定期無料法律相談会は、校友弁護士の協力を得て開催された。概要は左記のとおりである。定期無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生達の法学の実践教育を行うという目的を達成することができた。

### 一、日時

#### 【平成二十四年度】

(第七回)平成二十五年二月九日(土)

(第八回)平成二十五年三月十六日(土)

#### 【平成二十五年年度】

(第一回)平成二十五年五月二十五日(土)

(第二回)平成二十五年六月十五日(土)

(第三回)平成二十五年七月十三日(土)

(第四回)平成二十五年九月二十八日(土)

(第五回)平成二十五年十月二十六日(土)

(第六回)平成二十五年十二月十四日(土)

※いずれも時間は、午後一時～午後三時

二、場所 法学部三号館

三、参加者(敬称略)

#### (専任教員)

岡島 芳伸・内山 忠明・清水 恵介・松嶋 隆弘

堀切 忠和

#### (校友弁護士)

水上 博喜・末次 茂雄・宮崎 章・齋藤晴太郎

松澤 功・今西 隆彦・佐藤 勝・入澤 武久

大谷部雅典

#### (補助学生)

参加教員担当ゼミナール学生 各回四名

四、相談件数・内容

①件数

八十件

②内容

扶養、相続関係(遺言・遺産分割)

十七件

貸金、そのほかの債権回収

三件

二、場所 群馬県高崎市労使会館

借地借家

十件

三、参加者(敬称略)

不法行為(名誉毀損・器物損壊など)

七件

(専任教職員)

近隣問題(道路・境界など)

十三件

岡島 芳伸・清水 恵介・山川 一陽・堀切 忠和

労働関係(従業員のトラブル・解雇など)

六件

石川 登・星野 孝一・中村 彰・戸塚 浩行

家族関係(離婚・DVなど)

一件

吉田 翼

借金、保証そのほかの金銭債務(含む破産)

二件

(校友弁護士)

売買そのほかの契約関係

三件

齋藤晴太郎・川上 俊明・入澤 武久・松尾 浩順

その他(消費者問題など)

十八件

佐藤由紀子・松本 速雄・池田 貴明・金澤 大祐

(※平成二十五年二月～平成二十六年一月末日現在)

入澤 裕樹

(補助学生)

## 平成二十五年巡回無料法律相談会

四、相談件数・内容

参加教員担当ゼミナール学生等十六名

①件数

三十三件

②内容

借地借家

四件

建築関係

三件

売買そのほかの契約関係

二件

家族関係(離婚・DVなど)

三件

扶養、相続関係(遺言・遺産分割)

十件

その他(貸金・近隣問題・交通事故など)

十一件

平成二十五年巡回無料法律相談会は、群馬県高崎市の労使会館において、市当局並びに地元校友会・校友弁護士等の協力を得て、平成二十五年十一月十七日(日)に開催された。

開催の概要は左記のとおりである。巡回無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生達の法学の実践教育を行うという目的を達成することができた。

一、日時 平成二十五年十一月十七日(日)

午前十時三十分～午後三時

## 平成二十五年行政なんでも相談

平成二十五年行政なんでも相談は、法桜祭期間に合わせて開催された。概要は左記のとおりである。専門の相談員による行政相談に本学部の学生を陪席させ、行政相談を通じて日本の現代行政を理解する機会を提供し、そこにある問題点及びその解決方法を実感させるために実施した。

一、日時 平成二十五年十一月二日(土)～十一月四日(月)

※いずれも時間は、午前十時～午後三時

二、場所 法学部十号館二階 学生ホール

三、主催 日本大学法学部政経研究所

四、後援 東京行政相談委員協議会

五、協力 総務省東京行政評価事務所

六、相談員

東京行政相談委員協議会行政相談委員

総務省東京行政評価事務所行政相談員

七、補助学生 行政科研究室所属学生及び公募にて募集の法学

部生

八、相談項目

・行政改革について

・年金制度について

・環境政策について

・税金について

・防災政策について

・交通の便について

九、相談件数

等々

四十四件

## 平成二十五年法律討論会

第三十六回法律討論会は、日本大学法学会と日本大学法曹会による共同開催、並びに日本大学法学部校友会と日本大学法学部法学研究所の後援により、平成二十五年十月十九日(土)十二時三十分から法学部十号館一階一〇一一講堂において開催された。

(出題者)

伊藤美結己裁判官

(審査員)

有吉 眞弁護士・本多 健一裁判官

西尾 浩登検察官

(進行・時計)

濱田左千子弁護士・鶴岡 拓真弁護士

## ◆問題(民法)

Aは、平成二十年五月二十日死亡した。Aには妻甲、Aと甲の間の子である、長女乙と長男丙がいる。

Aの遺産は、B銀行の預貯金、C信託会社の販売する投資信託一〇〇口、東京都D区にある自宅の土地及び建物、Aがその父から相続した、長野県E町の土地(別荘地であったが、取り壊され、相続開始時には更地。以下「別荘地」という。)であった。

乙と丙が平素より不仲であったため、遺産分割の話し合いは難航し、平成二十五年六月三十日、ようやく、遺産分割協議がまとまった。

① 丙には借金があり、その返済に窮した丙は、平成二十二年十二月、遺産分割協議書を偽造し、勝手に、自己が単独で別荘地を取得したとして、相続登記した上、債権者丁に代物弁済として譲渡した。

遺産分割協議の結果、別荘地を取得した乙は、丁に対して登記の抹消を求めた。丁は自己の権利を主張できるか。

② さらに、丙の債権者戊は、平成二十五年七月、相続登記のされていない自宅に、相続登記を代位で登記した上、丙の法定相続分につき、差し押さえをした。

遺産分割の結果、自宅を取得した甲は、戊に対して登記の抹消を求めた。戊は自己の権利を主張できるか。

③ C社の販売する投資信託は、平成二十一年以降、順調な運用実績を上げ、平成二十五年六月三十日までの運用利益として二〇〇万円が配当された。遺産分割協議の結果、C社の投資信託を取得した丙は、投資信託の運用利益は、投資信託を取得した丙に帰属すると主張している。甲、乙は、運用利益についての権利を主張できるか。

討論会は三人一組で十組が出場し、各チーム一人の立論者が十分以内の論旨を発表し、他の二人が他の出場チームや傍聴者の質疑に対して五分間で応答する方法で行われた。

討論に先立ち、日本大学法学会会長である杉本稔学部長並びに日本大学法曹会副会長宮崎章弁護士の挨拶があり、続いて進行の濱田左千子弁護士から発表の手順と審査基準(論旨内容六十点、発表態度十点、質疑応答内容・態度三十点)等の説明がなされたあと討論会が開始された。

討論終了後、審査員を代表して有吉眞弁護士から審査結果が発表されたのに続き表彰式が行われ、法曹会、法学部校友会から優勝チームに法曹杯・法学部校友会杯、法曹会から優勝、準優勝、第三位の各チームに盾、並びに法学部校友会から副賞と

して図書カードが授与された。また、法学部校友会から出場者全員にメダル及び図書カード、優秀質問者には法学部校友会から図書カードがそれぞれ授与された。また、来場者全員に法学部並びに法学部校友会からそれぞれ記念品を贈呈した。

なお、法律討論会終了後、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて出場者・関係者全員による懇親会が開催された。

成績結果は、以下のとおりである。(括弧内は学科・学年)

#### 優 勝(第十組)

宮下 貴裕(法律・三年)・難波 史郎(法律・三年)

最首 菜摘(法律・三年)

#### 準優勝(第八組)

井上 愛瀬(法律・三年)・三原 秀代(法律・三年)

山口 舞(法律・三年)

#### 第三位(第六組)

中川 貴文(法律・三年)・亀山 巧(法律・三年)

三島 彬裕(法律・三年)

#### 参加賞(順不同)

高井 里菜(法律・三年)・高倉 悠甫(法律・三年)

古尾谷弘文(法律・三年)・柴山 卓巳(法律・二年)

萩谷 夏海(法律・二年)・雨宮 卓史(法律・二年)

水元 麻由(法律・三年)・高橋 優輝(法律・三年)

藤沼涼太郎(法律・三年)・青塚 貴広(法律・三年)

二川 裕莉(法律・三年)・栗井 陽子(法律・三年)

奥山 智裕(法律・三年)・吉田 貴明(政治経済・三年)

武田 裕美(法律・三年)・中川 貴文(法律・三年)

亀山 巧(法律・三年)・三島 彬裕(法律・三年)

中村 壮一(法律・三年)・佐藤 俊輔(経営法・三年)

小池あずさ(経営法・三年)・井上 愛瀬(法律・三年)

三原 秀代(法律・三年)・山口 舞(法律・三年)

新井 博之(法律・三年)・井上 朗聡(法律・三年)

吉田 真悟(法律・三年)・宮下 貴裕(法律・三年)

難波 史郎(法律・三年)・最首 菜摘(法律・三年)

#### 優秀質問賞(五十音順)

青塚 貴広(法律・三年)・鶴飼 祐樹(法律・四年)

大谷 健太(法律・四年)・栗井 陽子(法律・三年)

最首 菜摘(法律・三年)・柴山 卓巳(法律・二年)

鈴木花奈美(法律・二年)・高井 里菜(法律・三年)

古尾谷弘文(法律・三年)・宮下 貴裕(法律・三年)

## 平成二十五年国家試験合格者

◆司法試験予備試験 一名

奥山 直樹(平成二十六・法律学科法職課程卒業予定)

◆弁理士試験 四名

上代 義剛(平成二十六・経営法卒業予定)

森田 雪葉(平成二十二・法律卒業)

市橋 俊規(平成十二・法律卒業)

五位野修一(平成十一・経営法卒業)

◆税理士試験 一名

片江 怜(平成二十六・大学院法学研究科修了予定)

◆公認会計士試験 二名

横山 裕昭(平成二十六・経営法卒業予定)

佐藤 瞬也(平成二十四・経営法卒業)

◆社会保険労務士試験 一名

井上 伸彦(平成二十六・経営法卒業予定)